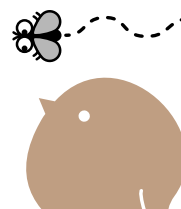


Sotto



[京都自死・自殺相談センター]

[そつと Vol.121 5月号]

JAMMIN × Sotto

チャリティアイテム 販売決定！

6/14 (月) ▶▶▶ 6/20 (日)

京都発ブランド「JAMMIN」と Sotto のコラボ。
この期間のみ オリジナルチャルティーアイテム
を販売します。

1週間限定！



コラボアイテムは、Tシャツ (13 カラー・S-XL)・パーカー・七分袖・ロンT・KIDSTシャツ・トートバック・ショルダーバッグなど多数！

アイテムの購入 1点につき 700円が Sotto の活動への寄付になります。

JAMMIN さんオリジナルのTシャツとパーカー・スウェット類は、すべてこだわりの MADE IN JAPAN。

品質そのものの良さから、取り扱い店舗もふえ、全国の百貨店で催事の開催などされているアイテムです。

たとえばトートバックは、郵便配達員が持つバッグにも採用されるほど丈夫な厚手のキャンバス生地を採用されているそうですよ。

ふだん使いにもよし、よそ行きにもよし、大切な人への贈り物として等など、暮らしの様々なシーンで活躍できるアイテムたちです。

普段は応援している団体のことを、知人や友人に紹介することはあまりないかもしれませんが、

Tシャツやトートバッグの贈り物や、寄付付き商品をみんなで購入する計画を立て「チャリティ体験」をすることで、応援している想いや、Sottoのことを周りの人たちに話してみるきっかけにしてもらえたらと思います。

ぜひ、お友達やお知り合いに拡散して、着用して、Sottoの活動を応援してください！



About 「JAMMIN」(ジャミン)

JAM SESSION が語源の「JAMMIN」さん。
一人ひとりが、それぞれの楽器で、もしくは手拍子で、ダンスで、歌声で、輪に加わってひとつの音を奏で、GROOVEを生み出すように。社会をよくしたいと思う人の気持ちを、少しずつ・たくさん集めて、ちょっとだけ世界を変えていくチャルティーブランドです。

「JAMMIN」さんの投稿シェアも寄付になるので拡散のご協力もよろしくお願いします。
詳しくは6/14のJAMMINさんHPにて発表します。

URL : <https://jammin.co.jp/>

コラボ期間は6/14～6/20の一週間限定です。
上記期間以外は他の団体のチャルティーアイテムを販売されています。
こちらもぜひ、のぞいてみてください。



相談員認定を受けて

5月30日の総会をもって、12期生の方々が正式に相談員として認定されました。

後期研修もあわせると約1年の養成講座を受けての感想や、これからの意気込み、または未来の受講生に向けてのメッセージをいただきましたので、そのなかから幾つかをご紹介します。

感想と意気込み

○参加する度に自分に不足していることや他の人の意見やロールプレのやりとりを見て得られるものがあり、新しい気づきや発見があり、充実した半年を過ごせました。向き合い続けることは難しいですが、自分にもできることが続けられたいなと思いました。

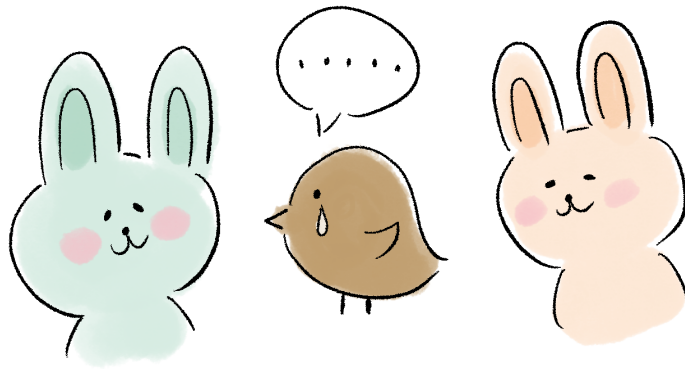
○今まで自分が生きてきた中で、見過ごしてきたところを気づかされました。世の中には、生きることに對して、本当にしんどい思いをされてる方がいて、助けを求めていることを知りました。その一助になれたいと思います。

○養成講座と後期研修の全体を通して、私は幾度となく、自己主体的な聞き方になりがちということに気が付かされました。相手の気持ちになって聴き、さらに、言葉にならない気持ちを言葉にして伝える。感覚的に身体でわかりますが、まだまだ気持ち的に遠いと感じられるところもあるので、今後もロールプレイを欠かさずに参加し、感覚を研ぎ澄ませていきたいです。

○死にたいって思うことは、何も特別なことでも非難されることでもなく、人間としての自然な気持ちであることを研修を通じて学んだ。また、自死すること、死にたいと思いを善悪で判断する議論が多いからこそ、(良かれと思っていても)それは誰のためでもなく、余計にマイナスな方向へ進んでしまうことがある。

死にたいという気持ちを持ってはいけないという考え方が社会に蔓延しているから、その気持ちを持った人が死にたい気持ちごと存在を否定されてしまった世の中の考え方はおかしいと思う。

sottoは、その社会に押し潰されてしまいそうな気持ちを見捨てず、気持ちのキャッチボールを通じて、あなた様は独りじゃない、生きていいんだよ、側にいるよっていうことを伝えていく活動で、強い孤独がある人のためにもこの活動をもっと広めていきたい。



未来のボランティア志望者に向けて

○決して自分には関係のないことではなく身近に孤独を感じて、死にたい気持ちになる人がいることを知ってほしい。誰でも何かできることはあるはず…。考えるのではなく感じる。まずはとにかく知って、やってみてほしいです。

○この研修は、本当に受講して損はありません！！多くの学びが得られます。受講のきっかけは何でも構わないと思います。(やる気さえあれば)

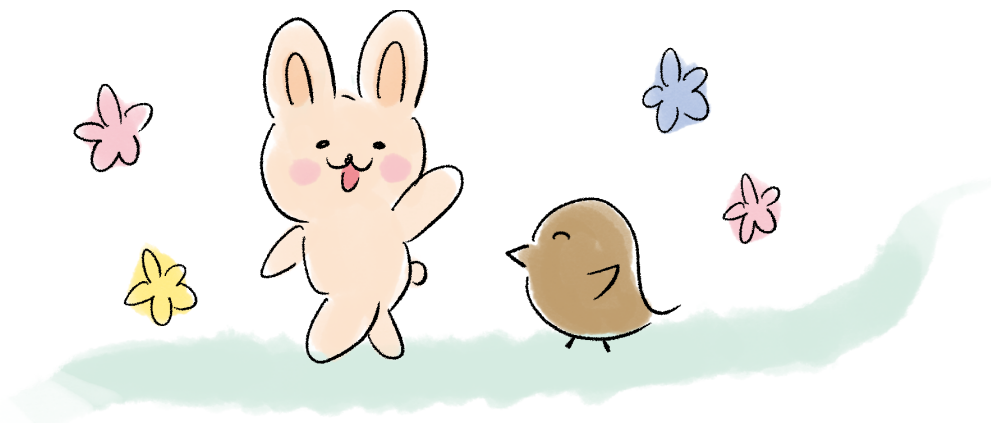
自分が学びたくて受講した人も、自死を考える人のために受講した人も、いろんな方がおられると思いますが、不思議なことに気がつけば自分のためになっています。自分自身の心が凄く温かくなってるんです。

迷ったなら、やるべきです。少しでも気があるならやるべきです！自分のためにも、自死を悩む方のためにもなると思います。

自分は一足先に研修を終えることができたので、受講を迷っている皆さんのことをお待ちしております。受講してね！

○真剣な気持ちで受けてほしい。

○迷いや不安もあると思いますが、同期の仲間がいると乗り越えられるかな。



今月のことば

オレンジ、それは温かい心の色さ

(映画『ブランカとギター弾き』)

活動報告

- 4月電話相談件数・・・80件（無言10件）
- 電話相談委員会・・・グループ研修 4/15 参加13名
- 4月期メール相談件数・・・受信117件、送信97件
- メール相談委員会・・・委員会会議 4/14 参加5名、4/28 参加4名
- 居場所づくり委員会・・・委員会会議 4/22 参加7名
おでんの会“食事の場” 4/7 申込12名（参加10名）
- グリーフサポート委員会・・・委員会会議 4/22 参加7名
そっとたいむ 4/6 申込2名（参加2名）
- 広報発信委員会・・・委員会会議 4/6 参加3名、4/13 参加3名、4/16 参加2名
4/20 参加3名、4/29 参加3名
- 映画委員会・・・委員会会議 4/22 参加7名
ごろごろシネマ 4/21 申込5名（参加4名）

寄付ご協力一覧（敬称略・順不同）2021年4月1日～30日受付分

ご協力にこころより感謝いたします

浄土真宗本願寺派
株式会社エクザム
葛野洋明

京都市・長慶院
永江 武雄
岡田 幸栄
西林 佳秋

匿名9名
(syncable 寄付者含む)

長嶋 蓮慧
荻野 昭裕
京都市・一念寺

京都市・西岸寺

Sotto コメント
今年のGWはお家で過ごして
いました (A・Y)

発行 2021年5月
認定特定非営利活動法人
京都自死・自殺相談センター事務局
〒600-8349 京都市下京区西中筋通花屋町下ル堺町92
TEL 075-365-1600
URL <http://www.kyoto-jsc.jp>
E-mail so-dan@kyoto-jsc.jp



クレジットカードでこちらから
寄付していただけます